

講習会開催案内

日本原子力学会標準

「原子力発電所の地震を起因とした確率論的安全評価実施基準:2007」

(社)日本原子力学会標準委員会では、2007年9月に発行した「原子力発電所の地震を起因とした確率論的安全評価実施基準:2007」についての講習会を以下の通り開催します。

本標準は、地震 PSA の実施にあたっての考え方、満足すべき要件及び具体的な方法について調査検討を行い、関連する分野の専門家の意見を踏まえ、地震 PSA の実施基準について規定したものです。講習会では、この標準の規定内容や解説に記載した具体例に加えて、制定以降に発生した東日本大震災などで得られた知見を評価にどのように活かしていくかなどの最新の動向について、二日間にわたり詳しく説明します。

開 催 日 : 2011年12月13日(火) 11:00~18:00

12月14日(水) 10:00~18:00

会 場 : 5東洋海事ビル 会議室D (東京都港区新橋3-2-5 5東洋海事ビル1階)

*案内図については別紙参照

定 員 : 40名(定員になり次第、申込みを締め切りますのでよろしくお願いします)

参 加 費 : 会員 35,000円(学生会員 10,000円) [標準代金は含まない]

会員外 40,000円(学生会員外 12,000円) [標準代金は含まない]

プログラム : 別紙の通り

申 込 方 法 : 別紙の申込書に必要事項をご記入の上、下記宛先までお願いします。

*詳細については別紙参照

お申し込み・問い合わせ先

(社)日本原子力学会 標準委員会事務局

〒105-0004 港区新橋2-3-7 新橋第二中ビル3F

Tel 03-3508-1263 Fax 03-3581-6128

Email sc@aesj.or.jp

講習会プログラム

司会進行：中村隆夫氏（地震P S A分科会幹事）

12月13日（火）

日時		内容	講師
11:00～11:05		開会挨拶	平野光将氏（東京都市大）
11:05～12:00		全体（目的と構成）、評価の流れ(3)	平野光将氏（東京都市大）
12:00～13:00		昼食休憩	
13:00～14:00		(1)プラント情報の収集・分析と事故シナリオの概括的分析(4) (2) 中越沖地震及び3.11東北地震の知見の事故シナリオ分析への反映・改良	蛭沢勝三氏（東京都市大）
14:00～ 15:45	14:00～ 14:15	(1)地震ハザード研究の経緯	蛭沢勝三氏（東京都市大）
	14:15～ 15:15	(2)地震ハザード評価の各論 ・地震ハザード評価の流れ(5.1) ・上下動及び地震ハザード評価における不確かさ要因の取り扱い(5.2) ・震源モデルの設定(5.3) ・地震動伝搬モデルの設定(5.4) ・ロジックツリーの作成(5.5) ・地震ハザードの評価(5.6) ・フラジリティ評価用地震動の作成(5.7)	野田静男氏（日本原電）
	15:15～ 15:45	(3)改訂耐震審査指針における確率論的内容と基準地震動の超過確率との関係	蛭沢勝三氏（東京都市大）
15:45～16:00		休 憩	
16:00～ 17:30	16:00～ 16:50	(4)改訂耐震審査指針を踏まえた耐震バックチェックにおける地震ハザード評価の適用例 ・不確かさの考え方 ・ロジックツリーの作成の考え方 ・評価結果	藤田雅俊氏（JNES）
	16:50～ 17:30	(5)中越沖地震及び3.11東日本大震災の知見の地震ハザード評価への反映・改良	蛭沢勝三氏（東京都市大）

17:30～18:00	質疑応答（プラント情報の収集およびハザード評価）	司会：中村氏
-------------	--------------------------	--------

12月14日（水）

日時		内容	講師
10:00～ 12:00	10:00～ 10:10	建屋・機器フラジリティ評価 (1)総論と全体の流れ	山口彰氏（大阪大学）
	10:10～ 11:00	(2)フラジリティ評価の考え方 ・フラジリティ評価の流れ、考え方、評価手法	日高 慎士郎（JENS）
	11:00～ 11:50	(3)建屋のフラジリティ評価 ・建屋のフラジリティ評価の具体的な方法、ならびに評価例について	美原 義徳（鹿島建設）
11:50～13:00		昼食休憩	
13:00～ 14:40	13:00～ 13:50	(4)機器のフラジリティ評価 ・機器・システムのフラジリティ評価の具体的な方法、ならびに評価例	石垣 博邦[日立GEニュークリア・エナジー(株)]
	13:50～ 14:25	(5)地盤と屋外土木構造物のフラジリティ評価 ・地盤ならびに屋外土木構造物のフラジリティ評価の具体的な方法、ならびに評価例	大鳥 靖樹[(財)電力中央研究所]
	14:25～ 14:40	(6)免震設備のフラジリティ評価 ・免震機器に関するフラジリティ評価の具体的な方法、ならびに評価例	大鳥 靖樹[(財)電力中央研究所]
14:40～15:10		質疑応答（フラジリティ評価）	司会：中村氏
15:10～15:20		休憩	
15:20～ 17:00	15:20～ 15:30	(1)事故シーケンス評価の流れ(7.1)	村松健氏（JAEA）
	15:30～ 15:55	(2)起因事象の設定(7.2)	黒岩克也氏（MHI）
		(3)事故シーケンスのモデル化(7.3) (4)システムのモデル化(7.4)	
	15:55～ 16:20	(5)事故シーケンスの定量化(7.5) (6)格納容器機能喪失シナリオの分析(7.6)	藤井正彦氏（東芝）
16:20～ 16:50	(7)評価例	近藤敬介氏（JNES）	
16:50～17:20		質疑応答（事故シーケンス評価）	司会：中村氏
17:20～18:00		閉会挨拶及び講習証配布	中村氏

開催場所のご案内

■場所：5 東洋海事ビル 会議室D

■住所：東京都港区新橋 3-2-5 5 東洋海事ビル1階

■アクセス：J R新橋駅 烏森口より徒歩5分

都営三田線内幸町駅A1出口より徒歩4分

■地図：

